

8 月 直毘神社・沫なぎ神社

8 月の『三春町まちなか寺子屋』では、直毘神社と沫なぎ神社を訪ねる予定です。

直毘神社の算額(1 面 5 問)は明治 28 年に、沫なぎ神社の算額(1 面 1 問)は明治 14 年に、いずれも佐久間纘門人たちによって奉納されました。

当日の寺子屋では、直毘神社算額の第 5 問を鑑賞する予定です。

なお、『街角の数学』では、同算額第 2 問を「街角の問題」(第 3 回)として取り上げました。ホームページをご覧くださいの上、奮ってご応募ください。

今有如図扇面内輪違大小二弧

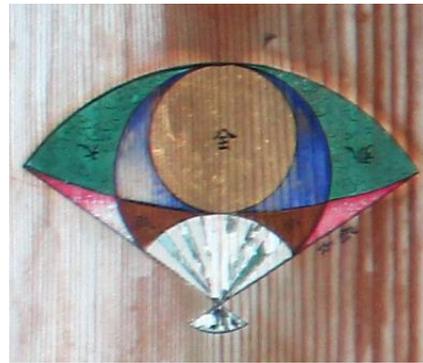
其罅容全円

只云大弧円径一十二寸

小弧円径四寸

扇長四寸五分

問全円径幾何 乃扇長者從頂至要



(明治 28 年奉納 中妻村 志田栄治)

(題意)

扇面(円弧)内に、図のように
相交わる大小の弧があり、
その隙間(青色の部分)に
全円を容れる。
大弧の直径を 12 寸、
小弧の直径を 4 寸、
扇長(扇の半径)を 4 寸 5 分
として、全円の直径を求めよ。
ただし全円は、大小の弧に内接する
最大の円である。

